

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅲ		科目コード	54051806		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容を1年次からレベルアップさせることを目的とする。					
到達目標	社会人として必要なマナー(期日厳守)・礼儀(挨拶状)を身に付け活用できる。					
評価項目	期末試験(65%)、出欠席(5%)、提出物(30%)					
評価基準	期末試験:各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。					
担当教員	伊丹 稔博		常勤			
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	ビジネスマナー基本テキスト (日本能率協会マネジメントセンター)					
関連科目	ビジネス実務Ⅳ					
授業計画	1. ビジネス文書の基本マナー 7コマ ①ビジネス文書:社内文書・社外文書 ②ビジネス文書:挨拶状の書き方(暑中見舞い・年賀状・年末挨拶状など) 2. 慶弔・贈答・会食のマナー 7コマ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	英会話 I		科目コード	51058102		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中で、保育園、幼稚園でも教育の中に英会話を取り入れた園が増えてきている。本校の学生が直接子どもたちに英語を教える機会は少ないかもしれないが、子どもたちが外国人の先生から学んだ英語を使う機会は日々の中にある。子どもたちが学んだ英会話を使う機会に教師が対応できる程度の会話力を身に付けることを目的としている。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中でよく使われる英語表現を学び、自分自身のことを表現することができるようになること ・幼稚園や保育園で関わる外国人の先生と少しの会話ができる ・外国の異文化を理解する 					
評価項目	期末テスト(85%)、確認テスト(10%)、出欠席(5%)で評価をつける。					
評価基準	試験にて理解度を図る					
担当教員	川口 芳子		常勤			
実務経験者による授業	実務経験:米国大学卒業後、英会話教室にて2年間幼児～高校生までに英会話を教えていた経験を活かし、学生が、日常英会話から保育所・幼稚園業界で使用される会話が理解できるよう講義する					
テキスト・参考文献	・Happy English for Childcare Maiko Tsuchiya KENSEIDO					
関連科目						
授業計画	<p>自己紹介(英文で1分間)日常のあいさつ、初対面のあいさつ、人を紹介する、名前や出身地を聞く、別れのあいさつ、道案内等、確認テスト1、2</p> <p>登園時の会話や体調が聞けるようになる、好き・嫌いを聞く表現、昔話の英訳、確認テスト3、4</p> <p>園外散歩での会話・集団活動、園庭での会話・道具の名称、確認テスト5、6</p> <p>保護者からの相談、好き嫌い、食材の名称 確認テスト7</p> <p>お昼寝時間の会話、確認テスト8</p> <p>降園時の会話、確認テスト9</p> <p>を使った表現、 Shall I～ Will you～ の表現、確認テスト10、11</p> <p>体調不良の園児に対して、確認テスト12</p> <p>保護者との電話対応、伝言、昔話翻訳、お礼の表現他、確認テスト13、14</p>					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	子ども家庭福祉			科目コード	51017301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	30	2	有
授業の概要・目的	子どもと家庭を取り巻く社会現象や生活環境の背景について理解するとともに、児童家庭福祉に関する法律や職業について学習する。					
到達目標	・少子化の要因と少子化が子どもに与える影響とを結び付けて自分なりの言葉で説明できる。核家族世帯の増加に伴う子どもの生活習慣の変化を説明できる。地域社会の変化に伴う子育て機能の変化を自分の言葉で説明できる。児童福祉六法の名前を覚え、各法律の目的や対象の区別がつく。各児童福祉施設を知り、設置目的や対象の区別がつく					
評価項目	・期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	試験にて理解度を図る					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業	実務経験:大学卒業後、介護施設(7年)、障がい者施設(3年)にて、直接介護、サービス管理提供責任者としての経験を活かし、法制度、虐待児への対応、家族への支援等の講義を行う。					
テキスト・参考文献	「子ども家庭福祉—子どもと家庭を支援する—」 大津泰子 著 ミネルヴァ書房 プリント対応					
関連科目	子ども家庭支援への心理学					
授業計画	少子高齢社会と子どもの健全育成について、変化する家族形態、地域社会の変化、学校に関する子どもの問題、児童福祉法と児童福祉六法について、児童相談所・福祉事務所・保健所について、子ども家庭福祉にかかわる専門職、児童福祉施設、児童福祉施設見学(保育所)					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	幼児への特別な支援			科目コード	51018301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	15	1	有
授業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもの保育に対して自ら関心をもって対応、実践できるようになることを目的とする。 ・障害のある子どもと障害のない子どもとの関りの中で、両者が共に育つものを大事にしなが ら、どのような支援、手立てをしていくことが大切か事例から学びを深めていく。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児保育の理論、支援の仕方、技法を理解し障害児保育への関心を深める。 ・障害のある子どもの困り感を理解し、子どもの心に寄り添った保育(支援)ができることを目指す。 					
評価項目	終末試験(80%) ・確認テスト(15%) ・出欠席(5%)					
評価基準	試験にて理解度を図る					
担当教員	高橋 知可			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験:障がい児支援施設にて、10年以上勤務して直接支援、児童発達支援管理責任者としての経験を活かし、法制度、障がい児への支援、虐待児への対応、家族への支援等の講義を行う。					
テキスト・参考文献	障害児保育第2版 ミネルヴァ書房					
関連科目	子ども家庭支援への心理学					
授業計画	障害児保育とは何か、乳幼児期における障害特性、障害の特徴、障害のある子どもの保育、障害のある子どもの保育支援、保護者との関わり、保育形態、感覚統合について、支援施設職員の講話					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	子どもの保健			科目コード	51017601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	<p>子どもにかかわる職種において子どもの健康を保持し、健康状態の変化を察知することが重要であり、その専門知識を身につけるため。大人とは異なる様々な特徴を捉え、「小児基準」で子どもの健康を考えることのできる知識を養うため。子どもは身体の諸機能が未熟で十分発達していないため、急変、重症化しやすく不慮の事故も予想される。しかし、早期発見、予防(対策)ができれば回復も早いという特徴がある。保育に関わる上で、専門的な知識と技術が求められる。そこで、子どもの健康と生命を守るための実践力を身に付けることを目標とする。</p>					
到達目標	<p>・子どもの保健の専門知識が現場とどう結びつくのか、自分なりの言葉で説明できる。子どもがかかりやすい疾病とその対応について学び、知識の習得をする。習得した知識を実際に行う応用力を持つ。保育現場における環境や衛生面の重要性を捉え、実践できる。</p>					
評価項目	<p>・科目終末試験(95%)、出欠席(5%)で総合的に評価する</p>					
評価基準	<p>試験にて理解度を図る</p>					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>新版よくわかる子どもの保健 丸尾良浩 竹内義博 編 ミネルヴァ書房(2021年)</p>					
関連科目	<p>乳児保育 I</p>					
授業計画	<p>子どもの保健とは何かについて、日本の子どもの保健の水準について、乳幼児の身体発育評価について、生理機能の発達と保健について、精神機能の発達について、心身の健康状態とその把握、感染症、疾患、疾患2、アレルギー性疾患、その他の疾患(耳鼻科、皮膚科、眼科疾患)、保育環境整備、事故、衛生管理</p>					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	多文化共生保育			科目コード	51018501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	<p>①文化の定義を理解し、異文化理解の基本的考え方を習得する。</p> <p>②異文化を相対的に理解することの意義を理解する。</p> <p>③幼児教育現場における多文化共生の実践は、幼児・保護者・保育者のみならず、地域社会との連携を通して可能であり、そのためには異文化間の対話が必要であることを理解する。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の定義・文化相対主義、グローバリズムなど異文化理解に必要な基本的概念を理解する。 ・外国の文化や考え方について幼児期から親しみを持つための工夫や環境構成について学習する。 ・日本文化を子どもたちに理解してもらうための知識や方法について学習する。 ・3法令にみられる多文化共生関連部分を理解する。 					
評価項目	前期試験(95%)、出欠席(5%)で評価をつける。					
評価基準	試験にて理解度を図る					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	実務経験:米国大学卒業後、日本の大学院にて生涯教育学部の修士を取得。ユネスコ協会の副会長として外国人留学生等の多文化共生について地域貢献を行っている。保育園・幼稚園にて多文化の子どもたちが増加していることを踏まえて、多文化共生の意義について講義する					
テキスト・参考文献	多文化保育・教育論 咲間 まり子編 みらい					
関連科目	英会話 I					
授業計画	多文化共生社会の必要性、在日外国人の動向 外国につながる子どもの保育・教育、海外の子育て支援の現状 まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	教育相談			科目コード	51013902	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	2	無
授業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の心を支えることの基本となる考え方とカウンセリングや心理学の基本的理論、カウンセリング技法を学ぶ。 ・保育者として保護者の内面理解をしながら心の支えになること、そのうえで保護者に子育ての養育力をつけていくことを目的とする。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者として保護者の子育てを支え、子育ての協力者であることの自覚 ・傾聴の大切さの理解と日ごろから実践しようとする意欲 ・自分自身を振り返り、自己を高めようとする姿勢 					
評価項目	終末試験95%、出席5%					
評価基準	試験にて理解度を図る					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	実務経験:米国大学卒業後、日本の大学院にて生涯教育学部の修士を取得。					
テキスト・参考文献	子育て支援カウンセリング(図書文化)					
関連科目						
授業計画	子育て支援について、カウンセリングの理論、カウンセリングの技法、日常の保護者とのかかわり方、養育困難を抱える保護者支援、障がいのある子どもの保護者支援、精神疾患の保護者理解と対応、親としての成長を支える、構成的グループエンカウンター 保育者として自分と向き合う					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	乳児保育 I			科目コード	51017801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	<p>乳児期の子どもの成長発達や発達課題、保育内容、保育実践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につける。</p> <p>また、子育てを担う保護者を支援する保育者としての役割を自覚し、支援を行う上で必要な知識や技能を修得することを目指す。</p>					
到達目標	<p>乳児の定義や乳児保育の意義、それに纏わる内容などの基礎知識を習得できる。 沐浴、着替え、排泄等の基礎技能が身につく。調乳ができる。</p>					
評価項目	課題25%、期末試験70%、出席5%)					
評価基準	試験にて理解度を図る					
担当教員	多久和 阿沙子			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験:保育士として10年以上勤務。この経験を活かし実践的な講義を行う。					
テキスト・参考文献	<p>はじめて学ぶ乳児保育 同文書院 保育所保育指針 厚生労働省、プリント</p>					
関連科目						
授業計画	<p>乳児保育とは何か、乳児の定義、乳児保育の成り立ち、認定区分、乳児保育のニーズの高まり、保育所保育指針、乳児保育に関する法律、労働基準法、育児・介護休業法、乳児の発育の平均・発育測定、0.1.2歳児の発達過程、0.1.2歳児の保育に関わる配慮事項、乳児期のこころの発達、乳児の言葉の発達、運動能力の発達、原始反射、乳児に適した玩具、保護者連携</p>					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育所実習指導Ⅱ			科目コード	51058201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	前期	15	1	無
授業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で習得した知識や技能、実習Ⅰで体験したことを基盤として、保育を総合的に関連づける力と保育実践に生かす力、応用力の向上を目指すことを目的とする。 ・0歳児から就学前の子どもの発達に即した遊びの指導案を計画作成、実践演習を通して実践力をつける。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の心構え、保育士として必要な資質を理解し、実習Ⅱに向けての意欲が高まる。 ・子どもの内面を読み取るポイント、読み取り方を理解、習得する。 ・子どもの姿や実態に即したねらいをおさえた指導案を作成する。 ・子どもの前で、明るくハキハキと関われる自信をつける。 					
評価項目	単元レポート(80%)、実技実践(15%)、出欠席(5%)					
評価基準	レポート、提出物にて理解度を図る					
担当教員	吉岡 さなゑ			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験:公立保育所において保育士・主任保育士・副園長・園長として勤務し、40年間保育にあたる。保育現場で、長年に渡り実習生を受け入れ、指導担当を務めた。					
テキスト・参考文献	保育所保育指針、保育実習の手引き(岡山県保育士養成協議会)、保育園・幼稚園の実習完全マニュアル(成美堂出版)					
関連科目						
授業計画	実習の実際、指導案作成、手作り教材制作 模擬演習、手作り玩具作製 模擬演習、日誌の作成、まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	音楽Ⅱ		科目コード	51012603		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	通年	60	4	無
授業の概要・目的	ピアノ・声楽の個別指導に加え、子どもの前でも自信を持ち、落ち着いて演奏できるように、授業内で他の学生の前で演奏する機会を設け、慣れさせる。季節・行事・生活に曲のレパートリーを増やせるように練習に励んでほしい。					
到達目標	実習先でも自信を持って子どもの指導が出来るように、保育の現場に必要な表現力を身に付ける。曲に合った演奏や指導が出来るように、音楽の楽しさを伝えられる技術、指導法を身に付ける。					
評価項目	確認テスト(65%) 期末テスト(20%) 授業態度(10%) 出席(5%)					
評価基準	随時確認テストを行い、熟練度を図る。					
担当教員	井上 美樹		非常勤			
実務経験者による授業	実務経験: 音楽大卒業後30年以上、音楽教室講師として幼児から大人まで、ピアノ、電子オルガン、リトミック、音楽理論、幼児指導法等を教えている経験を活かし、保育の現場で役に立つ技術力と実践力を養う					
テキスト・参考文献	「音楽(ピアノ教本)」 「音楽(声楽教本)」 近畿大学九州短期大学 「子どものうた100」 チャイルド本社 プリント					
関連科目						
授業計画	童謡の弾き歌い 課題曲の暗譜、実技 ※それぞれ音楽Ⅰで学んだ内容から個人の進行度を確認し、個人目標を設定して実施していく。					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	図画工作Ⅱ			科目コード	51012302	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>子どもの造形教育に関わる上で必要な知識、技能の習得(造形、色彩や構成)を行い適切で充実した援助、教育を行うことを目的とする。</p> <p>さらに、製作や表現する楽しさを味わいながら、保育・教育の現場で必要なスキルを磨き、現場で即戦力となれるような技術力を身につける。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動を通して自由に表現する楽しさを味わいながら、現場で使えるスキルを身につける。 ・創作活動において発想力・創造力を引き出すことの大切さを体験的に学習する。 ・子どもに向けて実践することをイメージしながら制作することで、より現場に通用する技術を身につける。 					
評価項目	<p>提出物(50%)、作品ノート(30%)、出欠席(5%)、授業態度(15%)</p> <p>で評価をつける。</p>					
評価基準	<p>完成度、期限等にて成績を付ける</p>					
担当教員	多久和 阿沙子			非常勤		
実務経験者による授業	<p>実務経験:保育士として10年以上勤務。この経験を活かし実践的な講義を行う。</p>					
テキスト・参考文献	<p>参考資料提示・配布プリント</p>					
関連科目	<p>図画工作Ⅰ</p>					
授業計画	<p>図画工作Ⅱを学ぶ目的について、保育実践と工作について 手作り玩具の作成、はさみの指導法、手作り絵本、貼り絵、幼稚園児対象の制作活動を考える。</p>					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	パソコン演習			科目コード	51054612	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>ワードを使用し基本的な書類の作成と仕組みを理解し、特徴を紹介しながら、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。</p> <p>パワーポイントの作成を通して、プレゼンテーションの技術を学ぶ。</p>					
到達目標	<p>罫線、表、グラフィックス等を利用し、読みやすいレイアウトデザインの文書を作成することができる。</p> <p>見る側の立場に立って分かりやすくプレゼンを行う基礎技術を養う。</p>					
評価項目	出欠席(5%)実技試験(45%)、提出物(50%)で評価をつける。					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	小野 美穂子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>30時間でマスター Office2019実教出版</p> <p>プリント配布</p>					
関連科目	パソコン実務					
授業計画	文書の作成、クラスだより、保健だよりなど、プレゼンの基礎を学ぶ、パワーポイントを作成、プレゼンテーション、まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	介護概論			科目コード	51015801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	15	1	無
授業の概要・目的	保育業界でも社会福祉を学び高齢者、障害者等介護業界についても介護全般の介護概論を学ばせる。社会福祉、高齢者、介護保険等制度的な概要を学び、実際に介護保険を利用するとどれくらいの金額になるのかを学び、社会保障に目を向ける					
到達目標	社会福祉や高齢者、障害者について制度的な内容を理解する。					
評価項目	期末試験(75%)、提出物(20%)出席(5%)に基づいて評価する。					
評価基準	試験にて理解度を図る					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業	実務経験:大学卒業後、介護施設(7年)、障がい者施設(3年)にて、直接介護、サービス管理提供責任者としての経験を活かし、法制度、家族への支援等の講義を行う。					
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	社会福祉について、老人福祉、高齢者・障害者の心理について、介護保険制度の概要、介護給付費請求について、レセプト演習(基本)、レセプト演習(様式八)、レセプト演習の振り返り					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	身体表現Ⅱ-1			科目コード	51054608	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	前期	15	1	無
授業の概要・目的	1年次で学んだ遊戯の構成や表現力についてさらに磨きをかけ、子どもに対する表現の指導方法を身につける。また、保育園・幼稚園で必ず行われる生活発表会の遊戯に関して企画、立案、実践を行い、より現場で必要なスキルを身につけることを目標とする					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リトミックやリズムあそびを実際の保育現場を想定して実践することで、幼児への指導方法を身につける。 ・オペレッタの構成方法や小道具、大道具の作り方を身につける。 					
評価項目	表現発表(50%)授業態度(15%)出欠席(5%)レポート(30%)で評価をつける。					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	多久和 阿紗子			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験:保育士として10年以上勤務。この経験を活かし実践的な講義を行う。					
テキスト・参考文献	実践 心ふれあう子どもと表現 (株)みらい 松家まきこ・鈴木範之 編					
関連科目	身体表現Ⅱ-2					
授業計画	オペレッタの実技、リズムジャンプを行う、パントマイム、サイレント劇の実践 劇の企画、劇遊び(運営実践)、まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	身体表現Ⅱ-2			科目コード	51054609	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	15	1	無
授業の概要・目的	前期で学んだ遊戯の構成や表現力についてさらに磨きをかけ、子どもに対する表現の指導方法を身につける。また、保育園・幼稚園で必ず行われる生活発表会の遊戯に関して企画、立案、実践を行い、より現場で必要なスキルを身につけることを目標とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで一つのものを作り上げることで、自分の役割に責任を持ちながら話し合いを進め、最後までやり遂げる。 ・2年間リトミックの授業で学んだことを生かし、表現力、構成力に磨きをかける。 					
評価項目	表現発表(50%)授業態度(15%)レポート(30%)出欠席(5%)で評価をつける。					
評価基準	・オペレッタに向けての準備への参加状況、オペレッタの発表の様子(構成力・大道具小道具の出来栄え・表現力)。					
担当教員	多久和 阿紗子			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験:保育士として10年以上勤務。この経験を活かし実践的な講義を行う。					
テキスト・参考文献	<p>実践 心ふれあう子どもと表現 (株)みらい</p> <p>松家まきこ・鈴木範之 編</p>					
関連科目						
授業計画	目的、目標の提示、オペレッタの題材を決める 役割を決める、各役割に分かれてオペレッタを制作する 発表する、まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅳ			科目コード	51061402	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	2年	後期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。</p> <p>就職に必要なマナー、面接対策、コミュニケーション力などの実践力を養い、自分の将来をしっかりと見つめて働くことや職業への理解を深めていく。</p>					
到達目標	<p>自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。明確な目標設定ができ、それに向かって努力ができる。マナー、礼儀を身につけ、社会人としての判断ができる。自己分析、応募書類の書き方、面接のコツなど、就活テクニック向上につながる知識を得る。</p> <p>・第1回就職対策の準備をする。</p>					
評価項目	期末試験65%、出欠席5%、提出物30%					
評価基準	提出期限、試験にて理解度を図る					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>ビジネスマナー基本テキスト (日本能率協会マネジメントセンター) 就活支援ブック 就職活動編 (株式会社 キャリタス)</p>					
関連科目						
授業計画	<p>①自己PR ②履歴書、自己紹介書 ③面接対策 就職対策、社会人常識マナー、SPI</p>					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	食育Ⅱ			科目コード	51012702	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	15	1	無
授業の概要・目的	近年、子どもを取り巻く食事の状況は社会の変化と共に変化を続けている。そこで、保育、幼児教育の現場に携わる上で子どもを中心としながらも保護者とともに食のあり方を知り、実践に生かすための基礎知識を習得し、より実践的な技術を学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践経験を重ね、子どもに伝える技術の向上を図る。 ・楽しむ経験から、子どもとともに楽しむ方法を見出し、力をつける。 					
評価項目	授業態度（30％） 小テスト（40％） 提出物（25％） 出席（5％）					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	多久和 阿紗子			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験：保育士として10年以上勤務。この経験を活かし実践的な講義を行う。					
テキスト・参考文献	厚生労働省HP、消費者庁HP 子どもの食と栄養 北大路書房 プリント					
関連科目	食育Ⅰ					
授業計画	食育とは何か、「食育」を考える、食事のマナーを知る、給食指導、食事故の予防を知る、食品の安全、口の健康から考える食育、食育教材、献立作成、模擬給食準備、振り返り					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	教育実習指導			科目コード	51016001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	通年	15	1	無
授業の概要・目的	教育実習に向けた事前の心構えや準備に関する基礎的知識を理解する。観察記録の作成や指導計画の立案方法を学び、実践することで、指導計画の作成方法を身につける。また、教育実習後に振り返りを行い、反省・考察を行うことで次年度の実習に向けて生かしていけるようにする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭としての必要な資質がわかり、実習に向けて意識を高め自分で準備をすることができる。幼児の姿からねらいと内容を適切に立て指導案を作成ができる。 ・幼稚園の現場で利用できるすぐに楽しめる遊びを研究し、様々な場面で活用できるようにする。オリジナルのペープサートや各種シアターを作り、ストーリーのある活用方法を工夫し、実際に発表する。教育実習での振り返りから、反省考察を互いに共有し、次年度に役立てる。 					
評価項目	指導計画の立案、提出(50%)手遊び、模擬保育などの実技演習(45%)、出欠席(5%)で総合的に評価する。					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	吉岡 さなゑ			非常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	・幼稚園教育要領 文部科学省					
関連科目	教育実習指導Ⅱ					
授業計画	教育実習の意義と目標について、幼稚園の役割や園の一日の流れについて知る 5領域のねらいと内容・10の姿について学ぶ、異年齢保育の現状や重要性について知る、年齢別の遊びを考察する、指導案のねらいと内容についての基本形を学ぶ、指導案(部分指導)を立案する、教師の援助を明確にする、指導案(全日指導)を立案する、遊びに使用する道具やオリジナルのペープサート・各種シアターを作る、教育実習の振り返りについて					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育教養 I			科目コード	51011401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>保育者を目指して学ぶ上で、専門的な教育を受ける準備段階として、質の高い保育の専門性と豊かな人間性についての基礎を学ぶ。</p> <p>保育業界でも社会で求められる文章は、共有認識がほとんどない相手に対して、自分の意見・考えを、理解・納得・共感してもらうことを目指す。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文章読解、作成能力検定合格。保育を学ぶ上での基礎知識と心構えを身に付ける。 ・豊かな人間性、専門性の重要性を知り、実践する。 ・身に付けた知識、技能を元に自分の将来像(保育者としての姿)について考える力を養う。 					
評価項目	出席(5%)、期末試験(85%)、提出物(10%)					
評価基準	提出期限、試験にて理解度を図る					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>基礎から学べる！文章カステップ文章検3級対応</p> <p>文章検公式テキスト3級</p> <p>保育者への扉 建帛社</p>					
関連科目	保育教養 II					
授業計画	語彙・四字熟語、敬語について、資料やデータを読み取る、文章構成「事実」と「意見」の区別、手紙文について、意見文について、模擬試験					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	子ども家庭支援の心理学			科目コード	51018401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	2年	後期	30	2	無
授業の概要・目的	<p>生涯発達に関する心理学の知識を習得し、初期経験の重要性、各時期の移行、発達課題について理解する。</p> <p>家族、家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係などについて発達的に理解し子どもとその家庭を含む現代社会の状況と課題を理解する。</p>					
到達目標	生涯発達を理解し、子どもを取り巻く様々な問題を支援するスキルを身に着ける。					
評価項目	課題15%、出席5%、筆記試験80%					
評価基準	提出期限、試験にて理解度を図る					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業	実務経験:大学卒業後、介護施設(7年)、障がい者施設(3年)にて、直接介護、サービス管理提供責任者としての経験を活かし、法制度、虐待児への対応、家族への支援等の講義を行う。					
テキスト・参考文献	『子ども家庭支援の心理学』 公益財団法人児童育成協会 中央法規出版社					
関連科目	幼児への特別な支援					
授業計画	生涯発達、家庭支援を学ぶ意義と目的、乳児期の発達、幼児期の発達、学童期の発達、青年期の発達、成人期・中年期の発達、高齢期の発達、家族・家庭の意義と機能、家族関係・親子関係の理解、子育ての経験と親としての育ち、子育てを取り巻く社会的状況、ライフコースと仕事・子育て、多様な家庭とその理解、特別な配慮を要する家庭 子どもの生活・生育環境とその影響、子どものこころの健康にかかわる問題、まとめ					
事前事後学習						